

## ◆ 今週のコメント

- ・ 第33週(8月11日～8月17日)はお盆を含む週です。定点当たりの報告数は前週と比べ、全体的に少なくなっています。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例あります。累積報告数は64例です。型別報告数は、O26 33例(内集団発生 1例 22件), O103 1例, O145 3例, O157 27例です。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数が0.66で、ピーク時(第32週 0.88)に比べ少なくなっていますが、平成12年から平成19年までと比較すると、第31週以降の同時期では、最も多い報告数が続いています。
- ・ 百日咳の報告が2例(0～5箇月, 20歳以上)あります。本年の累積報告数は37例で、そのうち20歳以上は10例です。平成12年から平成19年の同時期までの累積報告数(9例～24例)と比べ、本年は最も多くなっています。

## ◆ 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

- ・ 本年4月から6月末までに報告があったエイズ患者数及びHIV感染者数がまとまりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 京都市麻しん発生状況 速報

本市で報告が続いている麻しんの患者情報の詳細を、3ページ目の「平成20年 京都市麻しん発生状況 速報」に掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数報告の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(喀痰塗抹陽性 1例, 無症状病原体保有者 なし)  
【1月以降の累積報告数 231例(喀痰塗抹陽性 74例, 無症状病原体保有者 20例)】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT2, O157 VT1VT2) 2例【1月以降の累積報告数 64例】
- ・ 五類: 麻しん 1例【1月以降の累積報告数 107例】

### 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.00	82
	② 手足口病	1.34	55
	③ ヘルパンギーナ	0.76	31
	④ 咽頭結膜熱	0.66	27
	⑤ 水痘	0.63	26
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

### 病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP, 糞便をFC, 髄液をSF, 尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
インフルエンザウイルス AH3型(1)	インフルエンザ(第28週)	NP

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

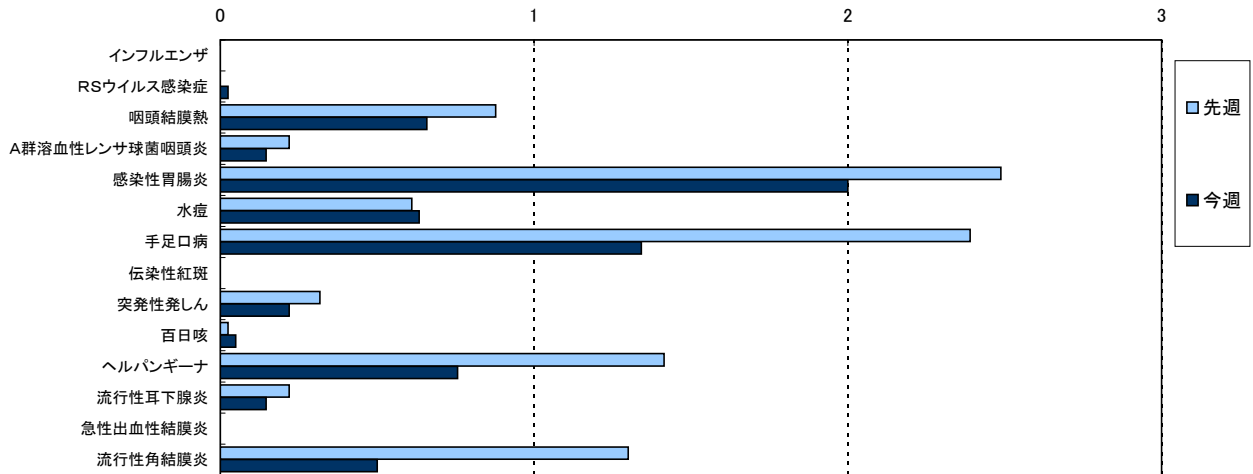
(注) 京都市のデータは、平成20年8月21日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

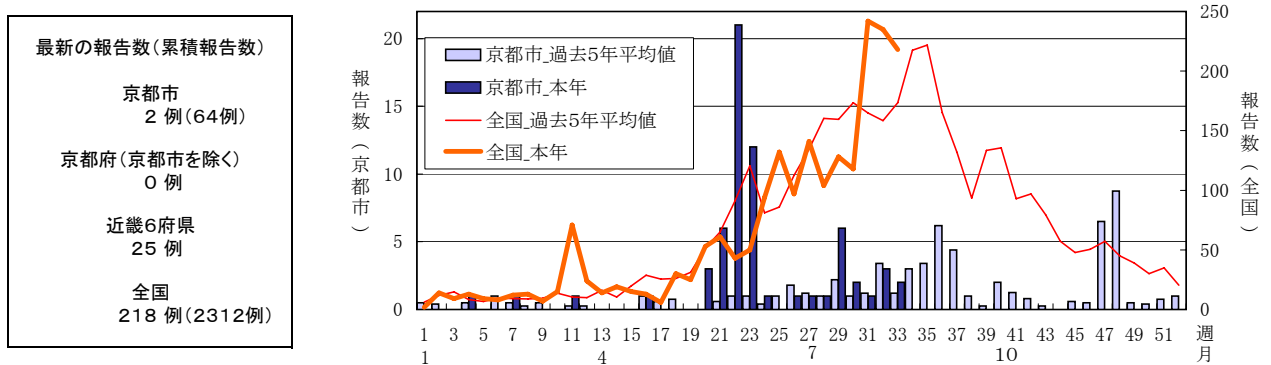
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第33週)と先週(第32週)の定点当たり報告数の比較

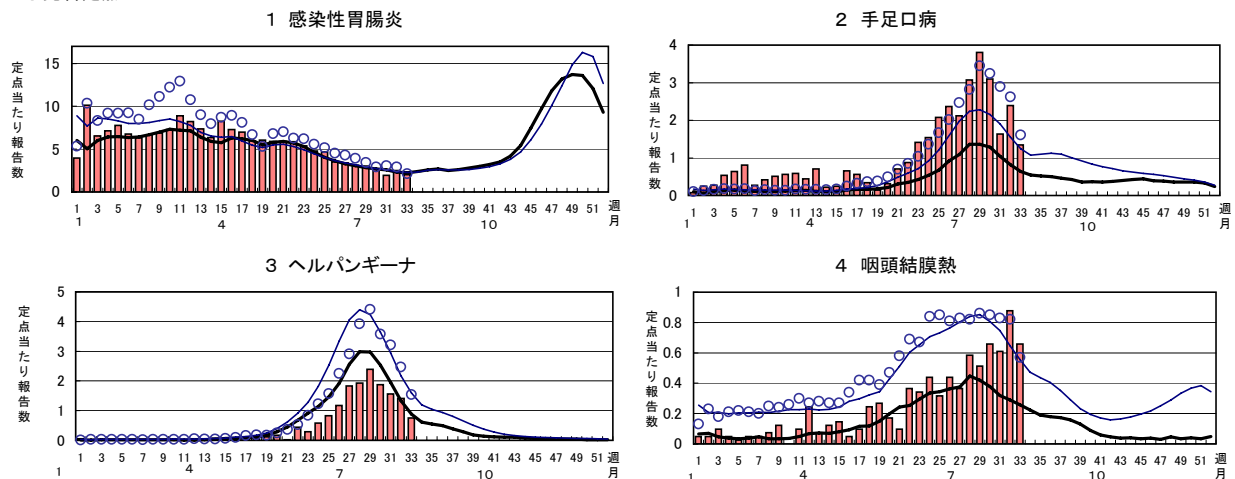


## 2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

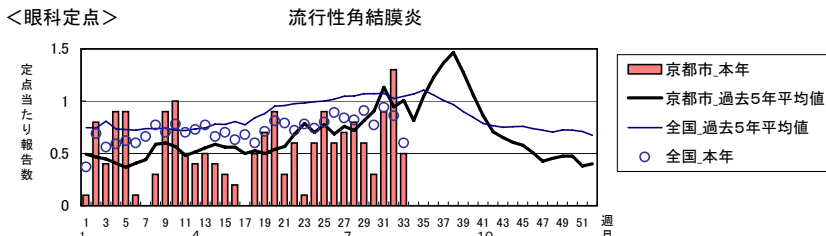


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



## 今週(第33週)のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

本年4月から6月末までに報告があったエイズ患者数及びHIV感染者数がまとまりました。

この3箇月間に、本市では、新たなエイズ患者3例及びHIV感染者3例、計6例の報告がありました。

エイズ患者3例については、すべて男性、日本国籍で、20歳代1例、30歳代1例、50歳代1例、推定感染経路は、同性間性的接触が2例、異性間性的接触が1例で、推定感染地域は、日本国内が2例、不明が1例です。

HIV感染者3例については、すべて男性、日本国籍で、推定感染経路は同性間性的接触、推定感染地域は日本国内です。

平成11年以降の1月から6月までの報告数を比較すると、HIV感染者の報告数については、本年は例年のペースを上回り、最も多い報告数となっています。

なお、昭和62年以降の本市における累積報告数は、エイズ患者50例、HIV感染者116例です。

本市では、性感染症検査(梅毒、淋菌、クラミジア、肝炎ウイルス[B型、C型])も同時に受けることのできる平日昼間検査(予約不要、市内各保健所)、HIV土曜検査(予約制、財団法人京都工場保健会)、夜間HIV即日検査(予約制、下京保健所)を無料で実施しています。

詳細については、<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000034033.html> で御確認いただけます。

### 平成20年4月～6月末までに報告のあったHIV感染者及びエイズ患者の詳細

	男性				女性		計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	20歳代	30歳代	
国籍	日本	1 (1)	1 (1)		1 (1)		3 (3)
		2 (3)			1 (1)		3 (4)
	不明		(1)	(2)		(1)	(1)
推定感染経路	同性間性的接触	1 (1)			1 (1)		2 (2)
		2 (3)			1 (1)		3 (4)
	異性間性的接触		1 (1)			(1)	1 (1)
	静注薬物使用						(1)
不明		(1)	(2)				(3)
推定感染地域	日本国内	1 (1)			1 (1)		2 (2)
		2 (3)	(1)	(2)	1 (1)	(1)	3 (8)
	日本国外					(1)	(1)
不明		1 (1)					1 (1)
							(0)

上段 エイズ患者  
下段 HIV感染者  
( )内 1～6月累積

### 年次別 1～6月 報告数の推移(昭和62年～平成20年)

報告年	エイズ患者	HIV感染者	計
昭和62年～平成10年(累積)	(14)	(26)	(40)
平成11年	0 (2)	0 (3)	0 (5)
平成12年	2 (3)	1 (3)	3 (6)
平成13年	1 (2)	4 (4)	5 (6)
平成14年	3 (4)	3 (5)	6 (9)
平成15年	2 (2)	4 (9)	6 (11)
平成16年	0 (2)	5 (19)	5 (21)
平成17年	2 (3)	2 (6)	4 (9)
平成18年	5 (8)	6 (17)	11 (25)
平成19年	4 (7)	4 (15)	8 (22)
平成20年(～6月)	3	9	12
報告数合計	(50)	(116)	(166)

( )内:年間報告数